

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株) クレアメディコ	代表者	内田 邦彦	法人・事業所の特徴	「医療・介護の原点はやさしさ」 上質な医療・介護を提供し、信頼され、選ばれる「さわやか苑」を目指し、地域医療・介護に貢献します。
事業所名	多機能ケアセンター さわやか苑 長倉	管理者	岩崎 智美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	人	2人	1人	人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月にサービス評価についての勉強会を実施し目標を共有した中で取組みを実施する。</li> <li>毎月月例会議にてサービス評価の計画が取り組んでいるか、進み具合はどうかを確認していく。</li> <li>職員には班構成を行った中から毎月主任、班長を中心に目標・目的を明確にし、計画に対し評価しながら個々に役割を持って取り組んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異動職員にはサービス評価について詳しく説明ができていなかった。</li> <li>取組みについての進捗状況は毎月月例会議や昼礼時に共有していたが、サービス評価と結びついていない職員もおり職員1人1人に理解してもらう為の説明が足りていなかった。</li> <li>班活動は毎月取組みの計画、評価を行い目標に向け個々の職員が取り組んできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主となる班が明確であり取組み体制がある事が良い。効果的に機能させることができると良い。</li> <li>取組みの方法が分かりやすいので職員も取組みやすく評価に繋がっていると思った。</li> <li>事業所全職員で取り組まれている。改善計画とその周知も意識的に取り組まれている事が伺える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>期の始め（上期・下期）に事業所目標や取組みを共有し職員全体で実施していく。</li> <li>班構成は継続し、個々に役割を持った中で目標・目的に対し具体的に計画を立て取り組んでいく。主任、班長を中心に取組みの周知や計画の進捗を確認しながら毎月評価していく。</li> <li>毎月の月例会議で取組みの進捗状況報告を通し班活動がサービス評価と連動している事を職員に理解してもらう。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な感染対策は継続し実施していく。感染症が発生した際はマニュアルに添って迅速に対応し感染拡大させないように努める。</li> <li>苑内の整理整頓は常に行い事故防止やご利用者様に気持ちよく過ごしていただけるように環境整備していく。また、掲示板を活用し日々の様子や取組み等を写真にして掲示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策は手洗い、うがい、マスク着用等の基本の対応を継続し実施していたが、2月に入り事業所内でコロナ陽性者が発生してしまった。</li> <li>苑内の整理整頓は日頃より気をつけて取り組んでいた。毎月の活動の様子を掲示し見学があった際に紹介した。ご利用者様も毎月楽しみにしており一緒に振り返りながら楽しんでいただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染禍が緩和されたとはいえ感染対策を徹底されている。安心できる環境整備の取組みを継続して行ってほしい。</li> <li>施設に入りやすい工夫がわかりづらいので外のしつらえなども検討してみてもどうか。</li> <li>気軽に入っていいいのかどうかは外観からではわからない。</li> <li>広報をみて良い雰囲気だと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な感染対策は継続し感染症が発生した際はマニュアルに添って迅速に対応し感染拡大を最小限に留める。また、日頃からご利用者様や職員の体調確認を徹底し早期発見に努める。</li> <li>事故防止や感染対策の観点から苑内の整理整頓は常時意識し整えていく。</li> <li>広報誌の工夫や見学の機会を作ったり引き続き掲示板を活用し苑に入りやすい雰囲気作りをする。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内の活動には例年同様参加させて頂く。状況を伺いながらご利用者様も参加できる行事があれば一緒に参加する。</li> <li>雑巾プロジェクトの活動を再開し近隣の学校への寄付を通じてご利用者様と地域の交流を図る。</li> <li>さわやか苑新聞を毎月作成しご家族様や回覧板を通して地域の方へも苑での取組みを発信し事業所を知っていただく。</li> <li>4、10月と半期に1回、地域資源についての理解を深める勉強会を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者様と一緒に参加する事は出来なかったが職員は回覧板で案内があったクリーン作戦や花壇作り、地域の防災訓練に参加できていた。</li> <li>今年度は雑巾プロジェクトを再始動し今年度初めより取り組むことができ11月には近隣の四郎丸小学校へ雑巾贈呈に行く事ができた。その後も活動の継続ができています。</li> <li>さわやか苑新聞を毎月発行しご家族様や運営推進会議の委員の皆様には見ていただいていたが確認不足により地域の方への発信はできなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との良い関係が築けている事が報告から伺える。地域に積極的に出向く事はとても良いと思う。</li> <li>雑巾プロジェクトはとても良い活動だと思う。</li> <li>今年度できなかった取組みを評価できているので次年度に繋がれば事業所の認知度も上がるのではないかと。</li> <li>町内の活動への参加はありがたい。引き続き継続してほしい。</li> <li>活動への参加や広報をもっと広める事が今よりできるようになると良い。</li> <li>地域の方との回覧板を活用し地域の方が目を止めやすい内容など工夫してみてもどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>例年同様、町内の活動には積極的に参加させて頂く。</li> <li>雑巾プロジェクトの活動を継続し年2回（6月と11月）近隣の学校への寄付を通じてご利用者様と地域の交流を図る。</li> <li>さわやか苑新聞は毎月作成し、取組みや苑での様子を知っていただく。また、地域の方へは回覧板やコミセンに広報誌を置かせて頂き地域の方へも事業所取組みを発信し知っていただく。</li> <li>広報誌を通し地域の方の介護相談などのお困り事があれば応えていく。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用様の在宅生活を支える為、地域との関わりをご家族様から情報を得たり必要な地域資源がないかカンファレンス時だけでなく常に情報共有していく。</li> <li>・長倉町内の方々だけでなく、送迎や訪問時に出会ったご利用様の地域の方々にも元気よく挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族様と情報共有し得た情報をカンファレンスを通して共有していた。ご利用様の住んでいる民生委員さんにも介入していただく機会も例年より多く情報共有していた。</li> <li>・ご利用様地域の方に出会った時は必ず気持ちのよい挨拶をするように心がけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を得て共有していくことは継続して行ってほしい。</li> <li>・基本的な挨拶を意識的に取り組まれ大切なところと感じる。</li> <li>・民生委員と関わりを多く作れた事はよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きご利用様の在宅生活に必要な地域資源や地域との関りをご家族様や地域の民生委員さんと情報共有し、初回アセスメント時やカンファレンス時に必要な情報を共有していく。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の意義を理解し年間計画に添って感染防止対策を行いながら対面開催を行う。</li> <li>・運営推進会議で頂いたご意見やアドバイスは事業所全体の事と意識し職員全体で共有し取り組みの改善や参考に活かしていく。</li> <li>・事業所の悩み事や取り組んでよかった事例等も報告に加えご意見を頂く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議は対面開催で実施する事が出来たが、案内の遅れがあり度々ご迷惑をお掛けしてしまった。</li> <li>・運営推進会議で頂いたご意見やアドバイスは事業所の職員にも共有し次回の取り組みの意欲に繋がった。</li> <li>・運営推進会議では報告中心になってしまい困り事等の事例を紹介、ご意見を頂く機会が作れなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議では細かく報告を頂けた。新聞などを通じて活動の様子も伝わった</li> <li>・より意見が改善に繋がるとよいと思う。</li> <li>・地域からの相談をもらう事は難しいのでご利用様の事例を聞かせてほしい。</li> <li>・運営推進会議では事業所の報告だけではなく事例検討や各委員が話しやすい環境の工夫が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議開催は計画通りに進め、変更等がある時は早めにお伝えする。</li> <li>・運営推進会議では事業所報告だけでなく事例検討等も行い、様々な視点からご意見やアドバイスを頂き実務に活かしていく。</li> </ul>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策マニュアル（ご利用様対応一覧、避難経路図、緊急連絡網、防災体制一覧等）は月1回更新し最新情報を共有する。防災グッズ等の定期的な点検を行い非常時に備える。</li> <li>・年間防災計画を立て町内会長様を通じて町内の自主防災会の方と意見交換の場を設け災害時に協力体制が図れるようにする。また、取り組み状況は写真を付けて分かり易く報告する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策マニュアルはその都度（月1回の書類も含む）更新し最新版にするように心がけた。防災グッズは定期的に確認し経年劣化しているものは新しいものに交換した。また、緊急時の連絡方法について変更した。</li> <li>・地域の防災訓練には今回初めて参加する事ができたが、苑の防災訓練に地域の方を招く事ができなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との関わりを意識して防災への取り組みをされると良いと思う。</li> <li>・防災活動を知ってもらう取り組みを検討してほしい。</li> <li>・町内会としてもいざという時に協力し合えるようお互いの取り組みを通して体制を整えたい。</li> <li>・防災の取り組みは地域との協力が重要となと思います。訓練に参加してもらうなどできるところから始めると今後に繋がると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常災害時の備えは常に整えて置き、備品の点検やマニュアル等の更新は月1回最新のものにします。</li> <li>・災害発生時の職員への緊急連絡網はLINEに切り替え短時間で多くの職員に共有できる方法に変更する。</li> <li>・災害時、町内の方とも協力体制が図れるようお互いの防災訓練に参加したり、情報交換を行っていく。</li> </ul>